

2025



旅と学びの協議会 第6期活動報告書 【公開用】

事務局：ANAホールディングス株式会社

目次

01 旅と学びの協議会とは

02 【巻頭特集】
第6期 補助金対象プロジェクト

03 社会実装プロジェクト報告

04 研究・論文報告

05 第6期 サミット・主要イベント報告

旅と学びの協議会

「旅と学びの協議会」は、ANAホールディングス株式会社（以下ANAHD）によって教育工学・幸福学・観光学の視点から、旅の効用を科学的に検証し、旅を学校および社会人教育の次世代手法としての有効活用を提言することを目的として2020年6月に設立されました。

事務局であるANAHDと会員約50団体と個人研究員で、新しい「旅のプログラム開発」や「旅に関するデータの科学的検証」、「協議会の活動の発信」などを実施しています。

これまで、「旅」と「学び」と「幸せ」は直観的に有効であると考えられてきておりますが、旅を通じて人間としての成長や成熟がどのように得られるかについては科学的に検証されてきませんでした。

そこで本会では、各分野の専門家とともに、科学的根拠に基づいた「ニューノーマルの世界における旅・学び・幸せのあり方」を日本で初めて証明することを目指しています。また、これからの時代を生き抜く力を備えた人材が育つ、社会の土壌づくりに寄与してまいります。

理事一覧



代表理事
小宮山 利恵子 氏

東京学芸大学大学院
教育学研究科 教授
株式会社リクルート
スタディサプリ教育AI研究所 所長



理事
鮫島 卓 氏

駒沢女子大学
観光文化学部 教授
旅人（世界75カ国）



理事
小林 正忠 氏

楽天グループ株式会社
常務執行役員
Croup CCuO
(チーフカルチャーオフィサー)



理事
津田 佳明 氏

ANAホールディングス株式会社
上席執行役員、未来創造室長

旅と学びの協議会が目指すもの

私たちは以下のミッション・ビジョン・コンセプトを掲げ、
これらの価値観を社会に広めるため、3つの役割を中心に活動しています。

ミッション



旅の新たな価値を探求し
個人の成長と夢にあふれる社会の実現に貢献します

ビジョン



これまでの学びのカタチにとらわれず
「旅してまなぶ」があたりまえな世の中へ

コンセプト



現代版 かわいい子には旅をさせよ

企画



旅の価値創出や学びの検証を目指した
プロジェクト企画・実施

役割



研究



旅の効用を科学的に検証

広報



協議会のイベント企画
活動に関する情報発信

活動内容

年間主要イベント

旅と学びの協議会 第6期キックオフ 交流会	①旅と学びカレッジ ②オープンカレッジ	旅と学びの協議会 シンポジウムVol.10 『AI時代における 旅と学び』
2025年5月23日 会場：Creadisce (オンライン併用)	計4回 ①オンライン ②会場：ANA Blue Base (オンライン併用)	2026年3月10日 会場：ANA Blue Base (オンライン併用)

サミット

長野・飯綱高原 サミット いづな学園の魅力を探 る。大人も感じるこ とができる非認知能力の体験	千歳サミット 水をテーマに“水”が潤す 生活と産業の観光活用を 考察する研修プログラム	山梨サミット 見る・登るだけじゃない！ 旅して学ぶ「富士山」 ～信仰・まちづくり・ 産業の歩みと地域課題～
2025年7月13日～14日 長野県飯綱高原	2025年10月4日～6日 北海道千歳市	2026年2月22日～23日 山梨県富士吉田市 河口湖エリア

広報活動

主に以下2つの媒体を通じ、多角的な情報発信の企画・運営を実施

旅と学びの協議会 公式ホームページ (<https://ana-conference.com/>)

ホームページのリニューアルを行い、情報の発信基盤を整理を実施

旅と学びの協議会 公式noteアカウント (https://note.com/fine_hosta3151)

noteアカウントを開設し、協議会のイベント報告や有識者インタビューを実施

多角的にまなびの旅に関する価値を発信

【企画】（株）ホリ・コーポレーション 堀川 智香子 丸善雄松堂株式会社、ANAホールディングス株式会社

【プロジェクトの概要説明】

アメリカの食ビジネスに興味を持つ人の見聞を広げ、フードビジネスを学ぶFood Educational Tourを通じて参加者の知的好奇心を満たし、ビジネスアイデアを探すプロジェクト。

【活動内容 - 背景】

以下の三社が連携し、各社の専門性を活かした新たな旅の価値を提供する。第7期中の社会実装を見据えて活動している。

- （株）ホリ・コーポレーション：海外政府機関とのネットワークを有しフードビジネス分野に特化
- 丸善雄松堂株式会社：学びに関する専門的知見とツアー実施の豊富な経験
- ANAホールディングス株式会社：充実した北米路線ネットワーク

【活動内容 - 目的】

知識習得、及びビジネス機会創出を目的に海外政府機関と関わり、生産者商談や食関連施設の視察を重ねた。その結果、各国の食ビジネスへの姿勢に感銘を受け、日本の飲食中小企業経営者にも体験する機会を創出すべく本プロジェクトを企画。



【研究】戸板女子短期大学 有田りな

【主催】フォレストリサーチ&コンサルティング株式会社 森雅司
個人研究員 谷口 聡

【開催日時】2025年10月11日

【開催場所】能登

【参加人数】5名（調査対象者）

【研究の全容：参加者の内面的変容プロセスに迫る】

IDGsスタディーツアー「青と緑の学校」を対象に、参加者の内面的変容プロセスを質的・量的に分析し、教育におけるIDGs活用のあり方を検討した。

【プロジェクト誕生の背景：なぜ今、IDGsの実践的活用なのか】

SDGs達成には担い手の内的成長が不可欠とされ、IDGsが注目されている。一方で高等教育における実践的活用や体系的整理は十分に進んでいない。

【私たちが目指したもの】

IDGsが教育現場でどのように活用されているかを整理するとともに、スタディーツアー参加者の内面的変容プロセスを明らかにする。



社会実装プロジェクト報告 『本と旅』

【主催】丸善雄松堂株式会社 ANAホールディングス株式会社

【開催情報】

- ① 2025年7月31日ヒアリングイベント（場所：丸善雄松堂株式会社 本社新川オフィス）
- ② 2025年12月13日~14日『本と旅する やまがた庄内』（場所：山形県 庄内）
- ③ プロジェクト会議（随時）

【プロジェクトの全容：新たな旅の形「読書旅」の創出へ】

読書好き・本好きをターゲットに、読書体験を中心に据えた旅のプログラムの開発・商品化を進める。旅先で本や人と触れ合うことで、それらの相互作用により、より本が好きになり、より地域への興味や愛着度が高まる、新たな旅の形として「読書旅」を訴求することを目指す。

【プロジェクトの誕生の背景：なぜ今、「本と旅」なのか】

近年、「おこもり読書」や「読書会」、小説や漫画の舞台を旅する「聖地巡礼」といった、新しい「読書」のあり方が注目される中で、「読書体験」をテーマにした複数名参加型の旅のプログラムは例がありません。

【私たちが目指したもの】

読書体験を中心に据えた旅のプログラムを通じて、旅と本の相互作用で、より本が好きな旅行者、より旅や地域に興味を持つ読書家が増え、「読書旅」が新たな旅の形として定着することを目指す。

**本と旅する
やまがた庄内**

本をひらく、本にひたる

限定13名
今なお日本の原風景を色濃く残す山形県・庄内地域
東北のきりと澄んだ冬の香りに包まれる、休息と思索の二日間

旅先で読み残した本はありませぬか？
旅先で読み残した本はありませぬか？

旅行期間
2025
12.13(土) - 12.14(日)

お申し込みはこちら
https://yashoda.maruzen.co.jp/event/202512131214/

旅行代金
89,800円

お申込み締切
2025 11.11(火)

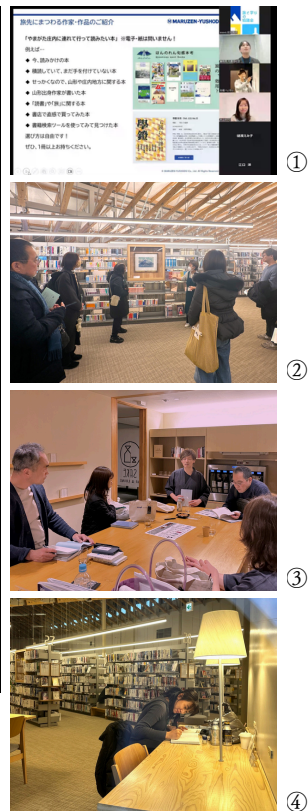
※全室、お一人様でのご案内です

本をひらく、本にひたる
「読書好き」へのご褒美旅

本と旅する やまがた庄内
ツアーの魅力

I 読書×温泉×ひとり時間 身も心もほぐれる宿	II 2024年5月開館 庄内町立図書館 訪問	III 参加者全員「本好き」 同士で語りを楽しむ
--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------

※本のご案内は、本と旅より発行の企画書（追加料金）を参照してください



↑『本と旅する やまがた庄内』ツアーチラシ

- ① オンライン事前説明会／旅先につわる書籍などの紹介
- ② ツアー中／図書館職員によるガイド
- ③ ツアー中／参加者同士の交流会
- ④ ツアー中／訪問した図書館で読書を楽しむ参加者

【主催】 アーストラベル水戸株式会社 流通科学大学 山川 拓也

【開催場所】 茨城県

【プロジェクトの全容：地域と結ぶ、新しい教育旅行】

茨城県内の中学校と地域事業者を結ぶ教育旅行プログラムを実施し、地域価値の共創と教員負担の軽減を図った。

【プロジェクト誕生の背景：なぜ今、新しいモデルが必要なのか】

従来型修学旅行では学習効果が限定的であり、地域学習と実体験重視の教育旅行モデルを構築する必要があった。



社会実装プロジェクト報告

『親子ワーケーション in 天草』

【主催】 ANAホールディングス株式会社

【開催日時】 2026年2月27日

【開催場所】 熊本県 天草市

【プロジェクトの全容：親の出張×1日保育園留学】

熊本県天草市の小宮地保育園にて、親の出張に合わせて未就学児2名が地域の保育園で1日を過ごす「1日保育園留学」の実証事業を実施した。

【プロジェクト誕生の背景：高まる子育て世代の新たなニーズ】

テレワークの普及等により仕事と家族時間を両立する新しい滞在スタイルへの関心が高まり、子どもの体験機会を大切にしながら働くという子育て世代のニーズが増加しているため。

【私たちが目指したもの：離れて過ごす経験の価値化】

非日常の地域環境で親子が離れて過ごす経験がもたらす影響を整理し、今後の親子ワーケーションの価値検討や、共同研究・実証事業に向けた基礎整理とすることを目的としている。



社会実装プロジェクト報告

『撮り旅Bangkok』

【主催】株式会社AOI Pro. ANAホールディングス株式会社

【開催予定場所】タイ王国・バンコク

【プロジェクトの全容：レンズ越しに出会う、世界と自分。というコンセプトで実施する、5日間の海外教育プログラム】

AOI Pro.とANAホールディングスが連携し、タイ・バンコクを舞台に、『異文化体験』『現地での撮影』『映像作品制作』『企業・大学訪問』を組み合わせた5日間のプログラムを企画した。

また、ANAバンコク支店および旅行代理店と連携し、航空・宿泊・現地移動・安全管理まで含めたパッケージの実行を目指した。

【プロジェクト誕生の背景：旅先で“主体的な学び”を実践する機会を創出】

近年、教育現場においては、「正解のない時代に対応する力」、「主体的に考え、行動する力」、「多様な価値観を理解する力」の重要性が高まっている。

一方で高校生にとっては、「海外に対する心理的ハードル」、「自分の興味や将来への不確実性」、「行動のきっかけ不足」といった課題が存在している。

こうした背景から、「旅」という非日常の環境と、「映像制作」というアウトプットを掛け合わせることで、“主体的な学び”を実践することを目的に、本プロジェクトは立ち上がった。

【私たちが目指したもの：世界を自分の視点で捉え、行動できる高校生の育成】

- ① 気づく力：異文化・価値観の違いに触れ、自分の「当たり前」を相対化する力
- ② 対話する力：言語の壁を超えて、他者と関係を築く力
- ③ 行動する力：自らテーマを設定し、一歩踏み出す力

これらを、「見る → 感じる → 撮る → 伝える」というプロセスの中で実践的に体験させることを目指した。

撮り旅 in Bangkok
タイ・バンコク

AOI Pro. × ANA
Inspiration of JAPAN

2026年3月26日(木)～3月30日(月)開催!

レンズ越しに出会う、新しい世界と自分。
～自分を表現し、未来を変える実践型クリエイティブ旅～

「撮り旅 in Bangkok」は、タイ・バンコクの文化と歴史に触れながら映像制作を学び、学生が国際的な視野を広げ、自己表現力を高めることを目的とした教育旅行プログラムです。ANAとAOI Pro.が連携し、バンコクの豊かな文化資源を活用した異文化体験と映像制作を通じ、学生の成長とキャリア形成をサポートします。

プログラムの3つの魅力

- 楽しい!** プロフェッショナルの映像制作会社AOI Pro.の直接指導のもと、映像の内容を考える「企画」作業から始まり、現地で撮影や編集の経験まで、映像制作の全工程を学べる。
- 心強い!** ANA・AOI Pro.が連携/協力し、中学・高校生など幅広い少人数制・常時スタッフ24時間サポート体制・事前オリエンテーション実施。
- 役立つ!** 世界遺産や市場観察を通じた異文化理解と、ANA空港・チュラロンコン大学での交流・見学により、グローバルな視点と自信を身につけ、キャリア視野の拡大を実現する。

schedule

募集開始	事前学習 (オンライン/交換生)	ツアー開催期間	事後学習 (編纂作業)
12月15日(月) ～2月18日(木)	2月21日(土)	3月26日(木) ～3月30日(月)	4月4日(土)

お問い合わせ | 旅と学びの協議会事務局 ana-conference@anahd.co.jp | 旅と学びの協議会

SCHEDULE
旅行日程

DAY 1	【出発】 羽田空港を離陸して出発し、バンコクへ向かいます。現地にてアオリエンテーション
DAY 2	【歴史と文化に触れる編纂】 大王宮、タシム大寺院(エメラルド寺院、ワット・ボヘン、ワット・アーン)見学、バンナムア・博物館見学、古くから商業・文化の中心地だったバンナムア地区・カオサン通り散策、チャオプラタ-川沿いのストリートアート鑑賞
DAY 3	【世界遺産体験】 世界遺産(アユタヤ)遺跡観光、リバークルーズorワット・ロクナク見学、バンコク市内自由散策
DAY 4	【現代都市と企業への視察】 チャオプラタ-ウー・ウエスト・マーケット(泰國アジア最大級のフリーマーケット)見学、国立マラソンコン大学キャンパス見学、日本とタイを結ぶエアポートとして歴史あるシロム地区自由散策、サワディー・チャオプラタ-クルーズ(ディナ-2号)
DAY 5	【帰国】 ANAバンコク支店訪問・交流会、スワンナム国際空港から帰国機に搭乗し、夜22:15 羽田空港到着機降機

CUSTOMER REVIEW
過去参加者・保護者の「リアルな声」をご紹介します!

映像を通して「自分と同じ気持ちを持つのが」はっまりして、通訳を覚えるきっかけになりました。また、観光だけでなく「現地の人の暮らしや価値観」を知れたのが一番の学びでした。

行かなくて本当良かったです。帰国後、子どもが自分の考えを言葉にし、自分から行動できるようになりました。オンラインで事前準備をさせていただいて感謝しています。成長がはっきり見えました。

英語は完璧じゃなくても、勝手に伝えようとしたらちゃんと理解できたのが良かったです。帰国後「感動したことがたくさんあるので、海外留学先も決まって、行動がつかないと思います。

不安はありましたが、サポート体制のおかげで安心して送り出しました。帰国後いろいろ質問を承知りましたが全てが良かったと思います。親子以上の信頼になりました。

海外が初めてで不安だったけど、自分から行動できるようになりました。もっと英語を勉強しようと思いました。

**旅行のお申し込みは
こちらから↓**

お申込み 12月15日(月)～2026年2月18日(金)

旅行代金 398,000円(税込)

定員 8名

事前学習参加
申し込みは55名

https://forms.gle/uRajD9SKxbXmWHEZ

お問合せ 旅と学びの協議会事務局
ana-conference@anahd.co.jp

公式サイトはこちらをクリック!

【主催】IDG NIPPON Labo

【開催場所】石川県能登町

【プロジェクトの全容：「自分のために誰かのために」という理念のもと、個人の変容が社会・地域へ波及する新しい学びの形を実証する取り組みである】

「青と緑の学校」は、IDGs（Inner Development Goals：内面的成長目標）を軸に、個人の内面成長と地域課題解決を同時に実現することを目的とした教育プログラムである。

2025年7月から10月にかけて第1期を実施し、オンラインでの内面成長ワークと、石川県能登町でのフィールドワークを組み合わせたハイブリッド形式で展開した。参加者は都市部および地元から集まり、チーム単位で地域課題に向き合いながら、最終的に地域活性化プランを策定・発表した。

【プロジェクト誕生の背景：能登町での実践経験】

主催者はこれまで、

- ・地域課題（祭りの担い手不足）に向き合うプロジェクト
- ・IDGsを活用した内面成長型の旅プログラム

などを実施してきた。

その中で見えてきたのは、「地域課題の本質は人の内面にあり、個人の変容なしに持続的な地域変化は生まれない」という仮説である。また、能登の人々が自然とともに暮らす中で、IDGs的な価値観を無意識に体現しているのではないかという気づきも、本プロジェクト誕生の重要な契機となった。

こうした背景から、「地域」と「内面成長」を切り離さずに扱うプログラムとして、本プロジェクトが立ち上げられた。

【私たちが目指したもの：参加者一人ひとりが、「自分のための学び」が「誰かのための行動」へと転換していくことを目指す】

本プロジェクトが目指したのは、単なる知識習得や地域体験ではなく、以下の状態である。

- ・個人が自らの内面と向き合い、行動変容を起こすこと
- ・地域を「外部の対象」ではなく「自分の延長」として捉えること
- ・個人の成長と地域の未来が同時に前進する状態をつくること

特に重視したのは、「内面の変化が、他者・地域への関わり方を変える」というプロセスの実現である。



第6期 研究部 活動報告

2026/01/29, 02/26, 03/26【旅と学びゼミ】開催

鮫島理事ご協力のもと【旅と学びゼミ】が第6期よりスタート

《目的》

- 旅と学びの協議会・研究部内での研究活動の活性化
- 中長期的なアウトプット(発表・共有)の場を創出し協議会内外へ発信

《方針》

- 各回持ち回りで自身の研究について発表し、その研究に対して参加者がディスカッションを行う
- 参加者が主体的に参加し研究を深化させる場とする

《登壇者》

- 1/29 本橋へいすけ氏《オフジョブおよびジョブ・クラフティングの関連心理的資本、人生の意味、ウェルビーイングの3時点縦断調査による検討》
- 2/26 有田りな氏《Inner Development Goalsを活用したスタディーツアーにおける参加者の自己変容プロセス》
- 3/26 山田圭一氏《ガストロノミーツーリズムのススメ》

第6期 研究部 論文・レポート報告

■ 今村康子氏

多摩大学 グローバルスタディーズ学部 准教授

[『台湾研修旅行がジェネリックスキル育成に与える教育的効果に関する考察:「変革的旅行経験」としての事例研究』](#) (リンクあり)

■ 山田圭一氏

株式会社ANA総合研究所 主席研究員

[『ガストロノミーツーリズムのススメ～「楽しいことが社会のためになる」旅のモデル～』](#) (リンクあり)

■ 谷口聡氏

和歌山県 商工労働部 企業政策局 企業振興課 主幹 アントレプレナーシップ総括担当

[『IDG NIPPON Labo 2025 年度「青と緑の学校」研究レポート』](#) (リンクあり)

長野・飯綱高原サミット

▶▶▶ いいづな学園の魅力を探る。大人も感じる事ができる非認知能力の体験



1- イベント概要

- ・ イベント名: 旅と学びの協議会 長野・飯綱高原サミット
- ・ 開催日時: 2025年7月13日-14日
- ・ 開催場所: 長野県長野市・飯綱高原
- ・ 主催者: いいづな学園 (寺田和嗣) / 旅と学びの協議会 (事務局: ANAホールディングス株式会社)
- ・ 参加者: 14名

2- 長野・飯綱高原サミットの背景と目的

サミットとは協議会会員が参加できるイベントで、産官学の参加会員が一堂に会し、次世代の「まなびの旅」の可能性を探る取り組みである。第6期の1回目は、長野県・飯綱高原を舞台に、1泊2日のサミットを実施した。初回のサミットということもあり、会員同士の交流も目的に開催し、アソシエイト会員である、いいづな学園所属の寺田和嗣氏がホストとなり、実践的なチームビルディング、地域の方々との交流、学校法人いいづな学園グリーン・ヒルズ小学校/中学校の探究学習の視察と出前授業を行った。

3- プログラムテーマ

- 1.参加者同士が意図的に対面交流『フィジカルコンタクト』を持つことで、相互理解を深め、今後の協議会活動の活性化につなげよう。
- 2.地域の人との交流、文化や自然を五感で体感し感性や創造性を育み、共創の土台となる共感や気づきを得よう。
- 3.参加者自身も主体的に学びを得ながら、旅先でのキャリア教育を通じて地域社会に貢献しよう。



北海道・千歳サミット

▶▶▶ 水をテーマに、“水”が潤す生活と産業の観光活用を考察する研修プログラム



1 - イベント概要

- イベント名：旅と学びの協議会 北海道・千歳サミット
- 開催日時：2025年10月4日-6日
- 開催場所：北海道千歳市
- 主催者：一般社団法人千歳観光連盟 / 旅と学びの協議会（事務局：ANAホールディングス株式会社）
- 参加者：16名

2 - 北海道・千歳サミットの活動内容

1. 活動目的：

「水」を切り口に、千歳地域の暮らしと産業を学び、サステナブルな資源活用や観光の在り方に触れながら、交流を通じて自分の地域や事業に応用できるヒントを得るためのサミット

2. 活動概要：

「北海道・千歳サミット」は、テーマを「水をテーマにした観光と産業研修プログラム」とし、千歳川・支笏湖を舞台に「水の恵みが育む暮らし・産業・未来」を多角的に学ぶ機会を提供。サミットでは、縄文人やアイヌの生活拠点から続く水資源の歴史的背景を踏まえつつ、現代における観光・産業・持続可能性へのつながりを探究した。

3 - プログラムテーマ

Day1：自然環境とサステナブル観光体験

体験：支笏湖でのクリアカヤック/王子軽便鉄道ミュージアム見学

学び：丸駒温泉にて、サステナブルに関する座学

Day2：地域資源と産業・エネルギー

視察：王子製紙千歳川第一発電所

体験：千歳川ラフティング

視察：サケのふるさと千歳水族館&千歳ワイナリー

Day3：地域資源と未来への展望

学び：千歳市役所にてRapidus（ラピダス）株式会社の次世代半導体と千歳の未来に関する座学

訪問：キリンビール北海道千歳工場



山梨サミット

▶▶▶ 見る・登るだけじゃない！旅して学ぶ「富士山」～信仰・まちづくり・産業の歩みと地域課題～



1- イベント概要

- ・ イベント名：旅と学びの協議会 山梨サミット
- ・ 開催日時：2026年2月22日～23日
- ・ 開催場所：山梨県 富士吉田市・河口湖エリア
- ・ 主催者：富士急行株式会社 / 旅と学びの協議会（ANAホールディングス株式会社）
- ・ 参加者：31名

2- 山梨サミットの活動内容

1.活動目的：

世界的な自然・文化資産である富士山を舞台に、サステナビリティと地域課題を自分事として捉える学びの場を創出することを目的とする。

2. 活動概要：

富士山を単なる観光対象としてではなく、信仰・まちづくり・産業の歩みを通じて地域を支えてきた富士山の「今」と「昔」を行き来し、その多面的価値を学ぶ行程が組まれた。街歩きや各施設や企業の見学、地域関係者との対話を通じて、参加者は観光では気づくことができない深い学びを吸収した。今後の地域活動や事業、教育などにつながる視点や問いを持ち帰り、自らの次の行動につながるきっかけとなった。



3- プログラムテーマ

Day1：富士山とともに生きてきた地域の歴史・文化・暮らしを理解する日

体験：富士山麓の導入としてふじさんミュージアム・富士山ジビエセンター・道の駅富士吉田の訪問・富士吉田市内の上吉田・下吉田エリアの街歩き 御師住宅を活用した古民家カフェで文化財の活用事例に触れ交流ランチ

Day2：自然資源と企業活動から、地域の持続可能性を“仕組み”として考える日

体験：富士急行本社見学・河口湖エリア見学・遊覧船「天晴」乗車体験・富士急ハイランド園内視察




旅と学びカレッジ

▶▶▶ 協議会会員によるオンライン勉強会・発表の場

2025年 第6期
第1回 旅と学びカレッジ
9月24日(水) 16:00~17:30
北広島市 万丈様 **自治体**
~北海道ボールパークFビレッジ
北広島市のまちづくり~

参考コンテンツ
Fビレッジについて

参加申込URLはコチラ
当日のzoom URLはコチラ
ミーティング ID: 868 2433 1406
パスコード 397412



【北海道・北広島市】

第1回目となる「旅と学びカレッジ」をオンラインで開催した。今回は北広島市ボールパーク推進課の万丈大樹氏を講師に迎え、北海道ボールパークFビレッジを軸としたまちづくりについて講義を頂いた。講義の中で万丈氏は、誘致における多大な尽力や、単なるインフラ整備に留まらない「幸福のまちづくり」への強い想いに言及された。スポーツの枠を超えて地域社会を動かす市の姿勢が市民に広く浸透している事実は、参加者が地域活性化の本質を再考する一助となり、深い感動と学びを得る貴重な機会となった。


【富士急行株式会社】

正会員である富士急行株式会社を講師に迎え、2026年の創立100周年に向けた歩みと、「わくわく×サステナビリティ」を軸とした経営戦略について講話をいただいた。富士急ハイランドの成り立ち自体がサステナビリティを体現しているという歴史的背景の紹介は、参加者一同に深い感銘を与えた。質疑応答では参加者から多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われた。次の100年を見据え、地域と共に「わくわく」を創造し続ける富士急行の情熱に触れる講義となった。

2025年 第6期
第1回 旅と学びカレッジ
11月21日(金) 16:00~17:00
富士急行株式会社 様 **正会員**
富士急ハイランドだけじゃない！？
富士急グループの
「わくわく」×「サステナビリティ」

参加フォームのご入力をお願いします！
⇒⇒⇒[Click Here!](#)

当日のzoom URLはコチラ
ミーティング ID: 819 3439 0877
パスコード: 024815



2025年 第6期
旅と学びカレッジ
12月11日(木) 15:00~16:30
feppiness株式会社 様 **正会員**
旅と学びの科学と実践、個人と組織を
TO DO思考からTO BE思考へ

旅と学びの効果を「クラフティング」という切り口から解説！
ワークショップを行いますのでメモとペンをご用意ください。



feppiness
発行者: 本橋 へいすけ
feppiness株式会社 代表取締役
コンサルティング/コーチ
pure life diary開発者

著書「理想(仮)ちゃんと運って、ちゃんとなりたい自分になる方法」すばる舎



【feppiness株式会社】

feppiness株式会社の本橋氏を講師に迎え、「TO DO思考からTO BE思考へ」をテーマに旅と学びの科学についての講義を実施した。後半は学んだ理論を実践に落とし込むための参加者主体によるワークショップを開催した。ワークショップでは「クラフティング」の視点から自己のあり方を見つめ直し、その内容を参加者同士で共有。互いの経験や価値観を言葉にして伝え合うプロセスを通じて、深い共感や新たな気づきが生まれる極めて前向きな時間となった。個人と組織の双方を豊かにする思考法を学び、参加者が明日からの自身をより良く変えていくための豊かさを感じる学びの機会となった。

旅と学びオープンカレッジ

▶▶▶ 映画のように旅をつくる～学びの旅がもつ可能性を探る～



イベント概要

- ・ イベント名：旅と学び オープンカレッジ
- ・ 講師地域：地域創成コンサルタント 豊田啓道氏
- ・ 開催日時：2026年1月28日(水)15:00-17:00
- ・ 開催場所：ANA Blue Base (ハイブリット開催)
- ・ 参加者：100名
- ・ 豊田啓道氏のインタビューは[こちら](#)

株式会社オリエンタルランドにて、ディズニーリゾートの創世記に深く関わった経験を持つ、地域創成コンサルタントの豊田啓道氏を講師に迎え、「映画のように旅をつくる」というテーマのもとオープンカレッジを実施。自身の経験を踏まえながら、人の感情を動かすストーリーづくりや非日常空間の演出、ゾーニングを意識した地域資源の魅力の引き出し方などについて講義が行われ、まなびの旅を作るにあたっての示唆に富む内容が多く語られた。

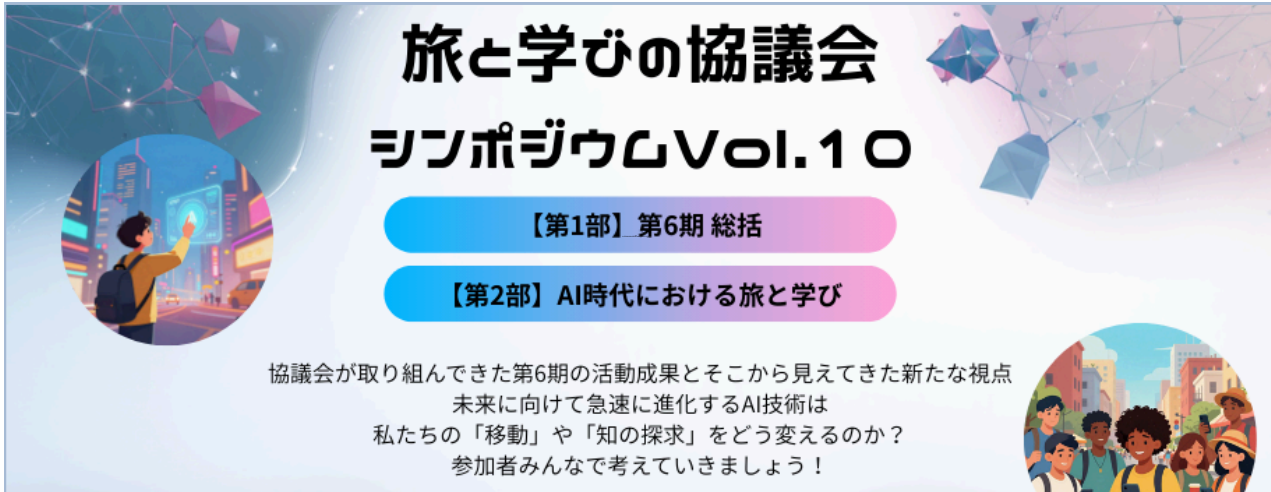


後半のパネルディスカッションでは、株式会社MASH代表取締役 染谷昌利氏、台湾・国立中山大学 伊藤佳代先生、アーストラベル水戸株式会社 代表取締役 尾崎精彦氏をパネリストに迎え、それぞれの立場から、学びの旅が持つ可能性についての対話が行われた。異業種の視点から意見交換を行い、参加者にとって新たな気づきや内省の機会が生まれた。地域との関わり方や多様な人との出会いを通じ、価値が深まる旅のあり方について具体的な事例を交えて紹介された。



旅と学びの協議会シンポジウムvol.10

▶▶▶ 第6期総括で一年を振り返り、AI時代の旅と学びについて学ぶ



旅と学びの協議会 シンポジウムVol.10

【第1部】第6期 総括

【第2部】AI時代における旅と学び

協議会が取り組んできた第6期の活動成果とそこから見えてきた新たな視点
未来に向けて急速に進化するAI技術は
私たちの「移動」や「知の探求」をどう変えるのか？
参加者みんなで考えていきましょう！

イベント概要

- ・ イベント名：旅と学びの協議会 シンポジウム vol.10
- ・ 開催日時：2026年3月20日(火)14:00-17:00
- ・ 開催場所：ANA Blue Base (ハイブリット開催)

第6期の総括では補助金取得者による報告をはじめ、サミットや研究部の活動が報告された。具体的な成果や課題が共有されるとともに、理事からのアドバイスや参加者からの感想が交わされ、活発な意見交換が行われた。

【登壇者】

- ・ (株) ホリ・コーポレーション 堀川 智香子氏
『Food Educational Tour』
- ・ 戸板女子短期大学 有田 りな氏
『参加動機は“不快”を“快”に変えるのかIDGsスタディーツアーにおける参加者の変容プロセス』
- ・ いいづな学園 寺田 和嗣氏
『長野サミット活動報告』
- ・ 丸善雄松堂株式会社 岩田 千穂氏
『研究部活動報告』



第2部「AI時代における旅と学び」では、代表理事の小宮山利恵子氏にご登壇いただき、これまでの取り組みやご自身の経験に基づくエピソードを交えながら、AIの進展による社会や価値観の変化に触れる講演を実施した。観光や教育分野にも広がりつつあるAIの影響に加え、AIが代替できない、人間にしか生み出すことができない価値の重要性についても触れられた。その後は参加者との意見交換を実施し、学生や正会員、自治体職員など、多様な視点による活発な議論が行われた。今後の「移動」や「学び」の在り方について理解を深める機会となった。

